

東京情報大学基本方針

1. 理念・目的

(1) 建学の精神

建学の精神 「未来を切り拓く」

東京農業大学の創設者である榎本武揚の掲げた実学を重視したパイオニア精神を発展的に継承し、情報を活かして新しい未来を切り拓く人材を育成することで、社会の向上・発展に貢献する。

(2) 理念

教育理念 「現代実学主義」

次の3点を踏まえて、情報を活かして現代社会に役立つ学問である実学を発展的に実現できる人材を育成する。

- ・実践的な学びの姿勢を尊重する
- ・情報を活用した応用技術を社会に還元する
- ・そのための基礎学問を重視する

その際、学生一人ひとりの個性を重んじて、感性豊かに創造性を身に着けることを主眼とする。

(3) 目的

建学の精神に基づき、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめて、文化の進展に寄与すること（学則）。

(4) 教育目標

建学の精神「未来を切り拓く」、教育理念「現代実学主義」を念頭に、日々進化する情報技術を活用し社会に貢献できる人材を育成する。

2. 内部質保証

以下の規程・要綱のもと、教員研究組織、教育課程・学習成果、学生の受け入れ、教員・教員組織、社会連携・社会貢献、大学運営・財務に関する取り組みについて点検・評価し、質の改善・向上を継続的に図っていく。

- ・運営委員会規程
- ・自己点検評価委員会規程
- ・内部質保証委員会運営要領

3. 教育研究組織

建学の精神に基づき、大学の理念および目的を実現するために、本学では以下の方針に沿って教育研究組織を編成・整備する。

- ・教育・研究活動の高度化を支援する。
- ・社会連携・社会貢献の積極的な推進を支援する。

4. 教育課程・学習成果

(1) 学位授与の方針（ディプロマポリシー：DP）

理念・目的を実現するために、教育目標を明らかにし、それに基づき学位授与方針を定め、公表する。

(2) 教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー：CP）

学位授与方針を踏まえ、DPを実現するための教育課程編成・実施の方針を定め、公表し、教育課程を編成・実施していく。

(3) 学習成果

DPに明示した学生の学習成果を把握する方法を整備し、達成度を評価する。

5. 学生の受け入れ

(1) 学生受け入れの方針（アドミッションポリシー：AP）

大学自体の多様性を充実させるために、DP、CPを踏まえつつ多様な学生を受け入れる方針（AP）を定め、公表する。

(2) 学生募集及び入学者選抜

各学部・学科及び研究科の人材育成・教育研究の目的を果たすために、APに基づいた適切な学生募集及び入学者選抜の制度や運営制度を整備し、学生を受け入れていく。

6. 教員・教員組織

(1) 求める教員像

- ・大学の理念と目的、学部・研究科の教育目標及び育成する人材像を十分理解している。
- ・学生に対して、愛情と熱意を持って指導する教育力を有している。
- ・高度な研究力を有している。

(2) 教員組織の編成方針

- ・大学及び各学部・研究科の教育目標を実現するための十分かつ適切な教員を配置する。
- ・ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに基づき適切な教育プログラムを実現するために、教員の専門性や配置等の基本方針を策定し、それに基づき各学部・研究科で適宜点検をおこなう。

(3) 教員の募集・採用・昇任等の方針

- ・教員の募集・採用にあたっては、透明性と適切性を保ちつつ、学部および研究科の採用方針に則り選考をおこなう。
- ・教員の昇任にあたっては、透明性と適切性を保ちつつ、学部および研究科の採用方針に則り選考をおこなう。

(4) 教員の資質及び教員組織の点検・評価

- ・大学は全学的に教員の教育資質向上に関する方針を示し、学部及び研究科は、その方針に従って組織的に教員の教育力の向上に取り組む。

- ・教員の研究力の向上を図るために、研修制度や研究助成などによる研究支援をおこなう。
-

7. 学生支援

本学の理念及び目的に基づき、学生一人ひとりが安定し充実した学生生活が送れるよう、修学支援、学生生活支援及び進路支援体制を整備する。

(1) 修学支援

- ・修学上の相談ができる体制を整備し支援する。

(2) 生活支援

- ・学生の心身の健康が保てる体制を整備し支援する。
- ・課外活動（クラブ、サークル、ボランティア等）が活性化するよう支援する。
- ・学生生活環境（奨学金、食生活、通学環境等）を整備し支援する。

(3) 進路支援

- ・キャリア教育を充実し、「社会的・職業的自立、学校から社会・職業への円滑な移行に必要な力」が向上できるよう支援する。
 - ・進路決定のための就職活動を支援する。
-

8. 教育研究等環境

本学の理念及び目的に基づき、学生及び教員が教育・研究を行う施設・設備等の環境を整備し、適切に管理・運営を行う。

(1) 教育研究環境の整備

- ・学位授与方針及び教育課程編成・実施の方針に基づき、教育研究に必要な環境を整備する。
- ・「学校法人東京農業大学各部門施設に係る中長期保全計画」に基づき、施設を修繕する。

(2) 研究支援

- ・適切に研究費を配分する。
 - ・外部資金獲得を推進する。
 - ・適切に研究活動が行えるよう規程等を整備し、管理・運営を行う。
-

9. 社会連携・社会貢献

本学の理念及び目的に基づき、実践した教育・研究活動の成果を広く社会に還元するために、社会連携及び社会貢献を推進する。

(1) 社会連携

- ・産官学との連携を図り、各機関と教育研究活動を推進するとともに、各機関の課題解決に貢献する。

(2) 社会貢献

- ・社会貢献ポリシーに基づき、教育と研究の成果を地域や社会に還元する。

10. 大学運営・財務

本学の理念及び目的を実現し、大学の機能を円滑かつ十分に発揮するための管理・運営体制を整備する。
また、安定的な財務基盤を確立するための財政計画を策定し運営する。

(1) 大学運営

- ・学校法人東京農業大学2022年度中期計画に併せて策定する本学の中期計画（方針）を全教職員へ明示する。
- ・各方針を円滑かつ十分に発揮するための組織を整備するとともに、管理・運営のための 規程等を整備する。また、組織を運営するための教職員を適切に配置する。
- ・大学運営を適切かつ効果的に行うために、教職員の意欲及び資質の向上を図るための方策（SD）を講じる。

(2) 財務

- ・教育研究活動を安定して遂行するため、中長期の財政計画を策定する。
- ・財務基盤として、外部資金の比率を高める。